

平成 27 年 8 月 27 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 477 回 構造懇話会 平成 27 年度 例会のご案内

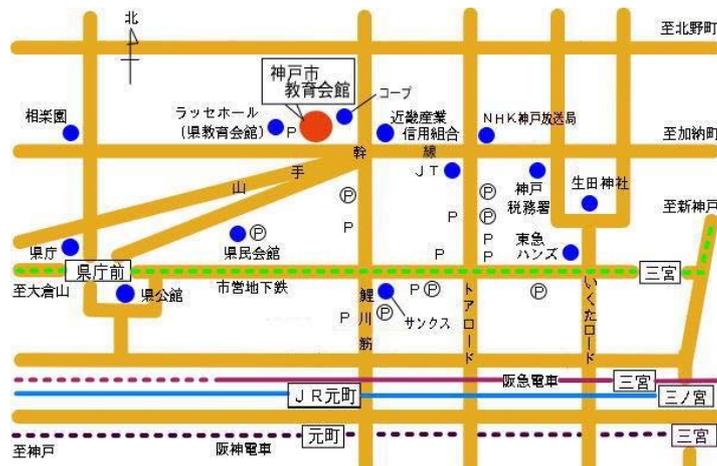
構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 27 年度 例会を下記のとおり開催いたします。
つきましては、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 27 年 9 月 29 日 (火) 13:30~16:30
2. 場 所 **神戸市教育会館 404 号室**
神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111
3. 議 題
 - 1) 例会 ①部 13:30~14:25
『 神戸市における橋梁整備事業について 』
神戸市 建設局 道路部 工務課工務第 2 係長 前田 英輝 氏
 - 休憩 14:25~14:30
 - 2) フリートーク 14:30~15:25
大見学会の概要について
 - 休憩 15:25~15:35
 - 3) 例会 ②部 15:35~16:30
『 アルミ微細多孔吸音パネルを用いた新幹線の沿線騒音対策について 』
株式会社神戸製鋼所 エンジニアリング事業部門 鉄構・砂防部 課長 堀内 章司 氏

[連絡先] 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 2-20-6
株式会社 長大 秋永 高史
TEL : 06-6541-5796 / FAX : 06-6541-5486 / e-mail : akinaga-t@chodai.co.jp

[案内図]



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

第 477 回 構造懇話会 例会での報告概要

1. 『 神戸市における橋梁整備事業について 』

①報告者

神戸市 建設局 道路部 工務課工務第2
係長 前田 英輝 氏

②報告内容

高度成長期に建設された橋梁の大量更新期がやってくることを見据えて、神戸市では、平成 18 年度から職員自らによる点検(遠望目視点検)を開始し、平成 20 年度には第 1 期橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的に橋梁の修繕を進めてきた。

その後、中央自動車道笹子トンネルでの天井板崩落事故をきっかけとして、橋梁等の重要構造物については、法令で 5 年に 1 回の定期点検(近接目視点検)が義務化され、神戸市でも、平成 26 年度より橋梁の定期点検に取り組んでいるところである。

神戸市では 2,000 橋以上の橋梁を管理しており、5 年サイクルで定期点検を着実に実施していくための点検費のみならず、定期点検により新たに発見された老朽化橋梁の対策費や阪神・淡路大震災での教訓を踏まえた耐震補強費など、今後とも橋梁整備費用の増大が見込まれている。

上記の課題に加えて、発注者・受注者に共通する点検技術者の確保やその技術水準の維持などの課題もある。これらの諸課題に対して、神戸市として今後どのように取り組むべきか、その方向性を報告する。

2. 『 アルミ微細多孔吸音パネルを用いた新幹線の沿線騒音対策について 』

①報告者

株式会社神戸製鋼所 エンジニアリング事業部門 鉄構・砂防部
課長 堀内 章司 氏

②報告内容

環境保全問題の一つである騒音の改善は、交通インフラの発展や快適な住環境へのニーズも伴って、社会の関心が高いテーマである。それを受けて当社は、新幹線や高速道路をはじめとした沿線騒音対策技術の開発に 20 年以上も取り組み、様々な技術・製品を開発してきた。

その一つとして、当社のオンリーワン製品であるアルミ微細多孔吸音パネルがある。本製品は金属材料のみで構成され、従来の繊維系多孔質吸音材と比べて屋外での長期使用に適している。

今回、本製品を用いて新幹線トンネル緩衝工用吸音パネルを開発した。従来品よりも高耐力・優れた音響性能を有した吸音パネルとして、大幅な騒音低減効果を発揮する。ここでは、製品の開発と実用化について報告するとともに実施事例を紹介する。